

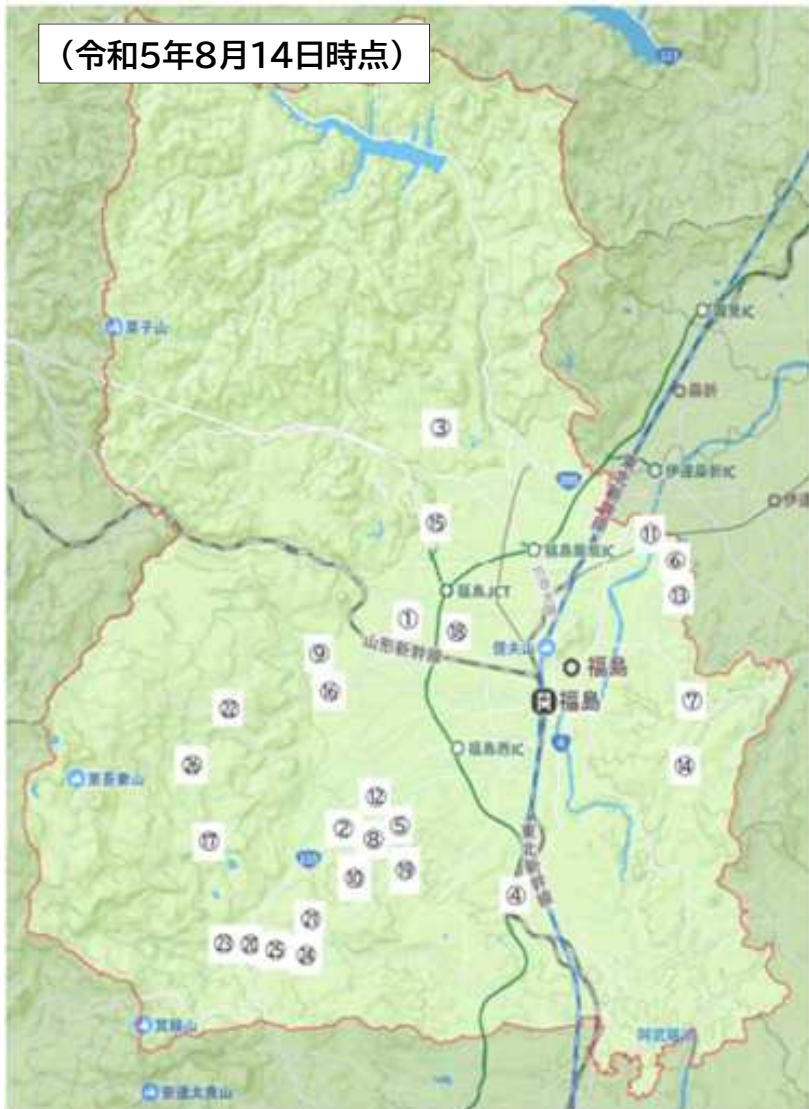
大規模太陽光発電に関する事業者、福島県 への要請について

- ・福島市の太陽光発電施設の現況と課題
- ・ノーモアメガソーラー宣言
- ・先達山太陽光発電と事業者への要請について
- ・福島県への要請について

福島市の太陽光発電施設の現況と課題

定格出力1MW以上の太陽光発電26施設の状況

(令和5年8月14日時点)



市内の太陽光発電施設は全部で103施設（未完成含む）
うち、定格出力1MW以上は26施設（未完成含む）
※26施設の位置は図参照

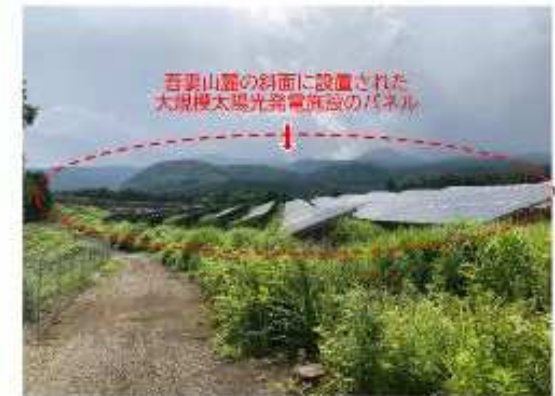
山地への大規模太陽光発電施設の課題

景観について

大規模な林地開発による山肌露出の状況



山地斜面に設置されたパネルの状況



安全安心について

法面崩落による土砂流出の状況



豪雨による道路への泥水流出の状況



ノーモア メガソーラー宣言(令和5年8月31日)



景観の悪化・災害の発生リスクのある
山地へのメガソーラーは望まない



省エネ・省資源化、次世代技術の導入とともに
地域共生型の再エネ推進



2050年度 温室効果ガス排出量
実質ゼロを目指す

ノーモア メガソーラー宣言 ～地域共生型の再エネ推進の決意を込めて～

吾妻連峰と阿武隈高地に囲まれた盆地に、信天山や花見山などの里山が点在し、花やくだもの畑が広がる田園風景は、福島市民の誇りであり、心に刻み込まれたふるさとの光景です。

しかしながら、山あい到大規模太陽光発電施設の設置が相次ぎ、森林の伐採や用地造成によって、景観が悪化してきています。そればかりか、保水機能の低下によって災害の発生が危惧され、地域の安全性に対する市民の懸念も高まっています。

私たちは、市民生活の安全安心を守り、ふるさとの景観を地域の宝として次世代へ守り継いでいかなければなりません。

福島市は、災害の発生が危惧され、誇りである景観が損なわれるような山地への大規模太陽光発電施設の設置をこれ以上望まないことをここに宣言します。設置計画には、市民と連携し、実現しないよう強く働きかけていきます。

一方、地球温暖化の防止は、私たちの未来を守る喫緊の課題です。「福島市ゼロカーボンシティ宣言」に掲げる2050年度の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、徹底した省エネルギー・省資源化に取り組むとともに、次世代技術も導入しながら、本市の実情に応じ、地域と共生する再生可能エネルギー事業を積極的に進めていくことを合わせて宣言します。

令和5年8月31日

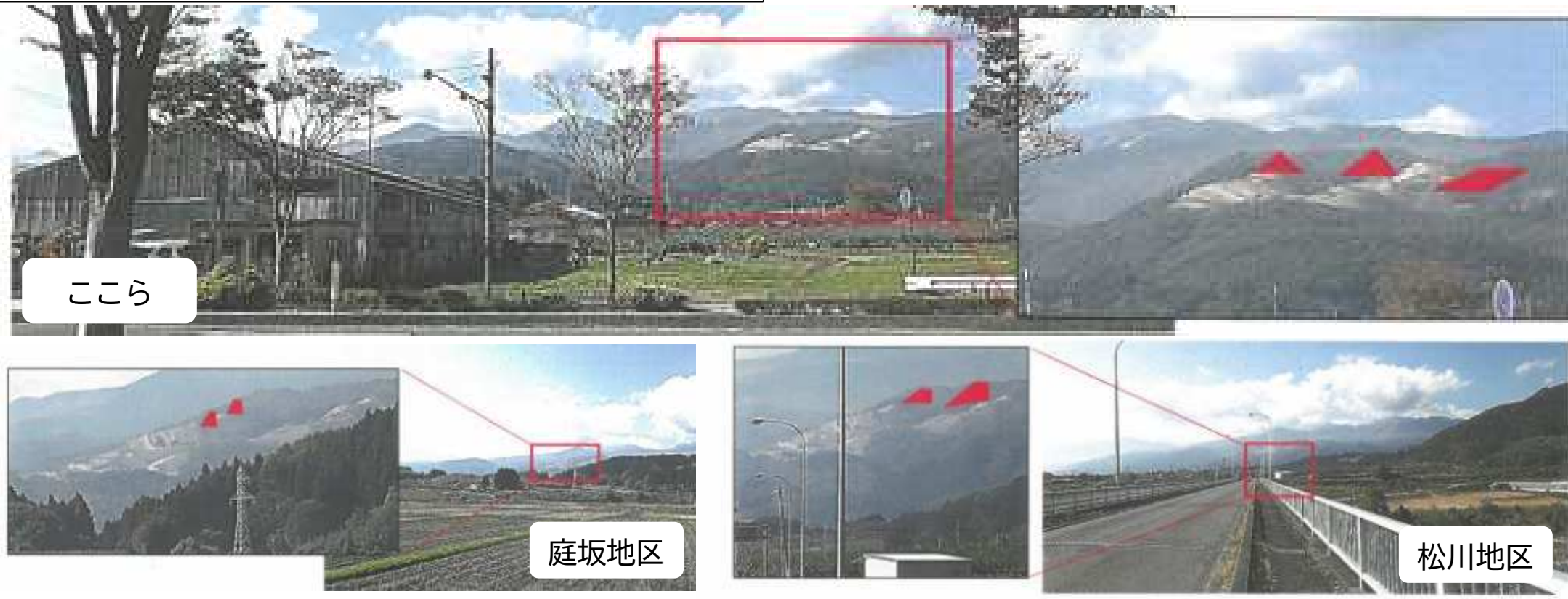
福島市長 木幡 浩

先達山太陽光発電について

1. 昨年春から、市内外から多数の批判・苦情
 - ・山肌の広範な露出による景観悪化
 - ・濁水や土ぼこり等
 - 土砂災害や水害への市民懸念が高まる
2. 林地開発許可に先立つ環境影響評価で市意見
 - ・美しい景観を損なわないこと
 - ・土砂の流出等がないような適切な措置 など

先達山太陽光発電について

先達山方面の眺望景観イメージ(環境影響評価) 令和5年11月1日撮影



《要請の内容》(R6.1.17)

1. 景観保全

① 予測説明通りの景観に向けた規模縮小等

県森林審議会森林保全部会での事業者説明・・・太陽光発電設備が「丸裸の湖のようなものが見える、という状況にはなりません。場所によっては見える箇所からでも、薄くすっとラインが入っているような景観になるイメージ」→過小説明？

② 緑化工事の先行実施・定着確認

2. 施行中・完了後の水害・土砂災害の防止

福島県知事への要請(R6.2.9)

《先達山太陽光発電について》

市から事業者への要請を踏まえ、事業者への適切な対応を！

《再生可能エネルギーの導入・管理について》

1. メガソーラー等再生可能エネルギーの導入について

- ①環境・景観等との両立を！両立困難なものは、事業計画の断念・見直しを求めること
- ②市内では、宣言の最大限尊重を！本市の実情に応じた再生可能エネルギー促進を！

2. 景観の保全について

(1) 環境影響評価における眺望景観予測と予測後の対応について

- ①フォトモンタージュ法を用いた施工中・後の眺望景観予測を行い、広く住民の意見聴取を。予測後は中間検証の指導を。
- ②眺望景観予測との差異がある場合は、その是正等の措置を事業者に強く指導を

(2) 緑地工事の先行実施・定着確認

(3) 伐採面積が超過しないよう施工管理の実施

3. 林地開発の許可責任者として、施工中・完了後の水害、土砂災害の防止のため、事業者に対して適切な指導・監督を！